

An aerial photograph of a large concrete dam with a series of buttresses, spanning a wide river. The water upstream is a deep green, while the water downstream is a lighter, milky green. The surrounding landscape is rocky and hilly.

宇治徳洲会病院 腎臓内科について

幅広い腎臓領域を急性期病院で極める

宇治徳洲会病院の特徴と腎臓内科

急性期病棟479床
救急車 9000件
近鉄小倉駅から送迎バスで10分



京都府南部の中核を担う病院であり、腎臓内科の基幹となる施設です
急性期病院であり、さまざまな急性腎不全、急性血液浄化の患者が集まります
入院患者も多く、様々な電解質異常、特殊血液浄化、慢性期の病態を見ることができます

ようこそ！ 腎臓内科へ

腎臓内科部長の中田紘介です

H16 京都大学医学部卒

H17 日赤和歌山医療センター 研修医
その後腎臓内科・糖尿病内分泌内科・
感染症科を兼任

H25 京都大学医学部附属病院

H30 特定病院助教

R 7 宇治徳洲会病院

腎生検 500件以上

シャント作成 1000件以上

シャントPTA 500件以上

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医

透析医学会 透析専門医

日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医

内科全般・救急・手技関連に強く、
幅広く見ることができる環境を整えます





■ 当院腎臓内科 概要

常勤医 3名（腎臓指導医・透析専門医各2名）

非常勤医 3名

外来 月～金の午前 毎日

対象疾患：

慢性腎臓病、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、
急性腎不全、急速進行性糸球体腎炎、間質性
腎炎、電解質異常など

外来患者数 約70名/週

入院患者：2026年より当科での入院を開始
上記患者に対応します

腎生検について

適応

0.5g以上の蛋白尿が持続している

蛋白尿・潜血尿が持続している

eGFRの不明な低下

2025年度は医師 1 名のため腎生検は施行しておりませんでした

2026年より当院で腎生検を行う予定です

規模的な面からまずは

年間30件を目指します

腎臓指導医 2 名が病理の読み方を懇切丁寧に指導いたします

また希望があれば、他施設への勉強も推奨します

広々とした
透析室！



透析関連の概要

血液透析

透析器 60台

通院透析患者数 約160名

透析導入数 年間約20名

入院透析患者 4-10名/日

通院での維持透析、透析導入、入院中の透析に対応
現在透析医学会の教育関連施設に申請中

腹膜透析

2026年より開始予定で準備中

腎移植

当院では行っていないが希望に応じ概要を説明し、
京都大学医学部附属病院・京都府立医科大学病院へ紹介。
移植後患者のフォローは当科で可能



10階からの
見晴らし！

透析カンファの様子

看護師・技師さんともに非常に優秀です
様々なカンファで意見交換を行い
患者さんにとって最適な医療を行っています





1 週間の様子

	月	火	水	木	金
8::30	カンファ 透析回診	カンファ 病棟回診	カンファ 外来	カンファ 経皮的シャ ント拡張術	カンファ
12:00	透析カンファ 透析回診	腎生検 透析回診	勉強会	腎生検カンファ	内シャント 造設術
17:00					病棟回診

多数の症例経験を積み、QOLの高い仕事を目指します

勉強、趣味、キャリアのための時間はしっかり守ります

月 9 日間の休みは確定

土曜出勤は月 1 回程度

当直は月 1 - 2 回の見込み

患者は主治医制ではなくチーム制でみるため安心

休日も当番医を決めて対応

学べる手技について

シャント作成

当院心臓血管外科及び腎臓内科が共同で作成しています
自己血管、人工血管、動脈表在化など行っています

シャントPTA

当院心臓血管内科にて行っておりますが、
腎臓内科でも施行できるように
調整がすすんでいます

パーマントカテーテル挿入

心機能が悪い方、シャントに適する血管がない方に
適応。当科で作成しています。



最新の多彩な講義

研修医、後期研修医向けの講義スライドは多岐にわたり作成
最新の内容、かつ腎臓分野だけでなく一般内科の範囲までカバー
定期的に講義を行っています

講義スライドの例

感染症

抗菌薬点滴 内服編、抗真菌薬

降圧剤の使い方

血糖コントロール

電解質補液

透析患者のコントロール

カリウムコントロール

尿酸コントロール

腎性貧血

糖尿病性腎症

補体と感染症

凝固系

VAIVTについて

シャントを長持ちさせる方法

シャントについて

延命・DNARについて

SGLT2とCKD

尿検査について

薬剤の使用法シリーズ

便秘薬

眠剤、せん妄薬

ステロイドと副作用

アレルギー薬

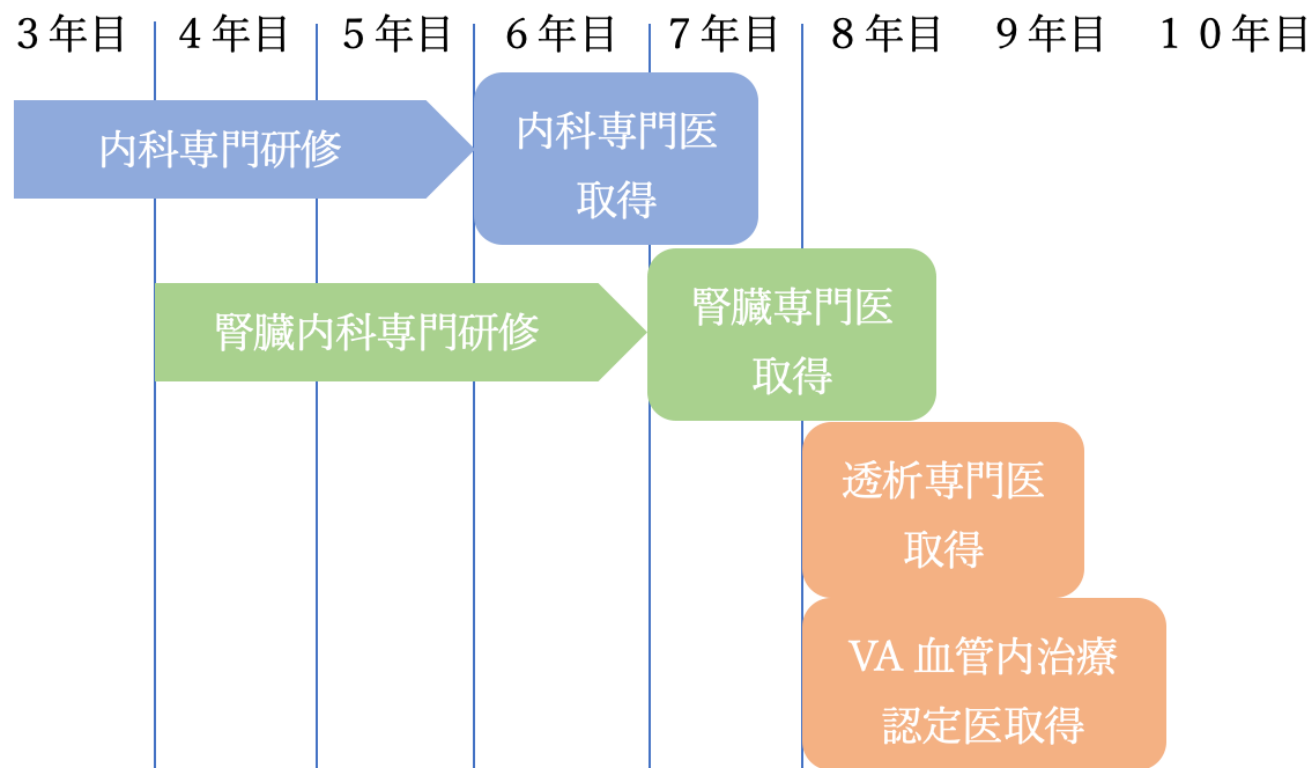
排尿障害

など

The image displays a collage of various medical presentation slides, likely from a series of lectures. The slides are shown in a layered, overlapping manner, suggesting a collection of different topics. Key slides visible include:

- 感染症 (Infection):** A slide titled "感染症ルール" (Infection Rules) discussing common sites of infection (e.g., skin, soft tissue, joints, bones, blood, lungs, sinuses, middle ear, fluid, throat) and the role of ACE/ARB in diabetic kidney disease.
- CKD (Chronic Kidney Disease):** A slide titled "CKDでの尿酸治療の新たな可能性" (New possibilities for uric acid treatment in CKD) and another titled "CKD診療におけるSGLT2阻害薬 いつ、誰に、どう使用するべきか" (When, for whom, and how to use SGLT2 inhibitors in CKD treatment).
- 降圧剤 (Antihypertensives):** A slide titled "薬でのコントロール" (Control with medication) listing various antihypertensive drugs (A, B, C, D) and their mechanisms of action.
- 血糖コントロール (Blood Sugar Control):** A slide titled "下駄つりとカルニチンむずむず脚" (Shin splints and restless legs) discussing the role of SGLT2 inhibitors.
- 透析 (Dialysis):** A slide titled "透析患者へのリンコントロール" (Control of phosphorus in dialysis patients) discussing the role of SGLT2 inhibitors.
- SGLT2 Inhibitors:** A slide titled "CKD診療におけるSGLT2阻害薬" (SGLT2 inhibitors in CKD treatment) discussing their use in CKD.
- Urinary Control:** A slide titled "筋痙攣 (下駄つき) とカルニチン とむずむず脚症候群" (Muscle cramps (shin splints) and carnitine and restless legs syndrome) discussing the role of SGLT2 inhibitors.

研修プログラムについて



当院だけで、上記資格の取得は可能ですが、
希望に応じて他病院をローテートすることもできます
当院で仕事をしているだけで、資格取得のための
症例数は足ります





当科で目指していること

何でもできる、どこでも働ける医師を目指します

とにかく新設の科なのでやりたいことを自由にできる環境が整っています

他施設への勉強なども希望があればどんどん推奨（腎病理・シャント関連・腹膜透析）

学会発表・論文作成も積極的にすすめます

研究の希望があれば京都大学等への紹介もします

なおかつ、QOLの高い生活を目指します

気になることや、興味のある方は
中田 hironakata0808@gmail.com か
宇治徳洲会病院までご連絡をお待ちしています